

2 0 1 8 年 度 事 業 報 告 書

NPO法人しぶたね

I 事業期間

2018年4月1日から2019年3月31日まで

II 事業の成果

任意団体としての立ち上げから15周年の節目となる今年度は、設立当初より行ってきたきょうだい向けワークショップや病院活動を最も重要な場所として継続し、NPO法人となった2016年度より開始した研修ワークショップをさらに拡充してシブリングサポーターの増加を図るとともに、記念事業として、「きょうだいの日」を記念日として制定、悲願であった世界のきょうだい支援の第一人者ドナルド・マイヤー氏の招聘を実現することができた。

今年度の大きな変化として、病院から、正式に予算が組まれた上での講演依頼が4件もあった。この15年で1件しかなかった依頼が頻発したことは、医療分野でのきょうだい支援への関心の高まりが如実に表れており、医療者の方がシブリングサポーター研修に参加してくださるきっかけともなった。

きょうだいの応援団である「シブリングサポーター」は、年間100人の目標を超えて162人が新たに誕生し、累計で459人となった。サポーターが集う「シブリングサポーターミーティング」の参加者も増え、新たな知識を得たり情報交換をしながら互いに励まし合う場として定着しつつある。シブリングサポーターが地元で研修ワークショップを共同開催してくださるケースも増えており、互いにつながりながら広がっていくという好循環が生まれている。

また、シブリングサポーター養成事業を支援して下さっている「タケダウェルビーイングプログラム」にさらにご支援をいただいて「きょうだい支援リーダー会議」を開催。各分野できょうだい支援を牽引しておられるリーダー的存在の方々にお集まりいただき、日本のきょうだい支援の現段階での到達点と今後目指すべき方向を明らかにすることを試みた。各分野で行われている最先端の実践活動やそれぞれが感じている課題を共有できたことはもちろん、今後協働していくための素地となるネットワークを構築できたことも大きな成果であり、きょうだい支援全体の課題解決に生かしていきたい。

設立15周年事業については、「きょうだいの日」制定に予想を超えて多くの賛同をいただき、特にきょうだい支援の関係者の中で大きな盛り上がりを見せた。このタイミングでドナルド・マイヤー氏の招聘が実現したことで、きょうだい支援の機運は更なる高まりを見せ、多くの支援者が集って各々の士気を高めるとともに強い一体感を生んだという意味において、大きな起爆剤となった。実際、シブショップファシリテータートレーニングを経て、新たに12の登録シブショップ（きょうだいのためのワークショップ）が生まれることとなった。

新聞やニュースで取り上げていただくことも格段に増え、社会のきょうだいに対する認知が少しずつ確実に広がっていることを実感している。

III 事業の実施状況

1. きょうだいサポート事業

(1) きょうだいのためのワークショップ「きょうだいの日」の開催

【内 容】 きょうだいに集まってもらい、安心して過ごせる空気の中であそぶ、おやつを食べる、親子でふれ合うなどのワークショップを行った。

【実施時期・場所・参加きょうだい人数】

① 7月7日(土) チャイルド・ケモ・ハウス	豪雨により中止
② 7月20日(金) 大阪市立総合医療センター	4名
③ 8月4日(土) TSURUMI こどもホスピス	4名
④ 8月11日(土) 明石市立明石養護学校	6名
⑤ 10月6日(土) 認定NPO 法人うりずん	3名
⑥ 10月21日(日) ドーンセンター	6名
⑦ 11月10日(土) チャイルド・ケモ・ハウス	3名
⑧ 11月30日(金) 大阪市立総合医療センター	0名(中止)
⑨ 12月9日(日) ドーンセンター	7名
⑩ 12月16日(日) ドーンセンター	5名
⑪ 3月10日(日) ドーンセンター	8名
⑫ 3月22日(金) 大阪市立総合医療センター	3名

【対象者】 病気をもつ子どものきょうだい

【収益】 なし

【費用】 334,518円(給料手当120,000円、印刷製本費5,670円、会議費1,447円、旅費交通費500円、通信運搬費32,260円、消耗品費89,647円、賃借料80,344円、保険料4,650円)

(2) 面会中の親を病院の廊下で待つきょうだいと過ごす活動

【内容】 親が入院中の子どもの面会に行く際、感染の問題から自由に病棟に入ることができず、廊下で待っているきょうだいと、おもちゃなどであそんで過ごした。

また、このような活動を全国の病院に広げるべく、「タケダ NPO サポートプログラム」の支援を得て、ボランティアさんたちと共に「病院内、きょうだいさん活動のための安心マニュアル」を作成、全国の小児科のある病院468カ所に送付した。

【実施場所】 大阪市立総合医療センター7階廊下

【実施時期】 毎月第2、第4火曜日

【対象者】 病院に入院している子どものきょうだい

【収益】 なし

【費用】 765,536円(給料手当120,000円、諸謝金482,000円、印刷製本費49,300円、会議費675円、通信運搬費53,957円、消耗品費46,484円、賃借料13,120円)

(3) きょうだいサポート冊子の作成・配布

【内容】 きょうだいと大人とで読んだり書き込んだりできる小冊子「きょうだいさんのための本」、病気のきょうだいを亡くした子ども向けの「きょうだいさんのための本②」を配布。昨年度末に冊子②を作成したことに伴い、全国の病院、保健所、支援学校など1,202施設に冊子①②の一斉発送を行った。

また、今年度は、ニュースで取り上げられた影響により送付依頼が増えたため、冊子①を例年の倍の10,000部増刷した。

【実施場所】	事務局より発送
【実施時期】	随時
【対象者】	きょうだい、きょうだいに関わる人
【収 益】	なし
【費 用】	587,167 円（給料手当 120,000 円、印刷製本費 253,565 円、会議費 2,298 円、通信運搬費 192,804 円、消耗品費 10,140 円、賃借料 8,360 円）

(4) シブリングサポートワーカー（きょうだい支援専門ソーシャルワーカー）派遣事業

【内 容】	2016年4月にオープンした日本初の地域型子どものホスピスである「TSURUMI こどもホスピス」にシブリングサポートワーカーを派遣し、月1回のケア検証会議に参加した。
【実施場所】	TSURUMI こどもホスピス
【実施時期】	月一回木曜日
【対象者】	TSURUMI こどもホスピス利用者
【収 益】	なし
【費 用】	7,200 円（旅費交通費）

2. 啓発事業

(1) 講師派遣、寄稿等事業

【内 容】	きょうだいの現状及び支援の必要性を広く訴えるため、要請に応じて講師の派遣や各種発行物への寄稿、各種メディアの取材対応を行った。
-------	---

【実施時期・場所】

・講演

- ① 4月14日（土）国立市公民館主催講座
- ② 4月15日（日）CLASS 医療的ケア児を地域で支える多職種勉強会
- ③ 4月30日（月）近鉄百貨店 闘病記フェスティバル
- ④ 5月12日（土）TSURUMI こどもホスピス まなびバ
- ⑤ 5月30日（水）大阪府茨木保健所
- ⑥ 6月6日（水）神戸女学院大学
- ⑦ 6月12日（火）チャイルド・ケモ・ハウス ボランティア研修
- ⑧ 6月30日（土）チャイルド・ケモ・ハウス ボランティア研修
- ⑨ 7月4日（水）神戸大学
- ⑩ 7月5日（木）愛知淑徳大学
- ⑪ 8月18日（土）大阪市保健所
- ⑫ 9月9日（日）つくばきょうだい支援の会 ふたば
- ⑬ 9月11日（火）大阪府池田保健所
- ⑭ 9月18日（火）兵庫県立こども病院
- ⑮ 9月26日（水）大阪市立総合医療センター
- ⑯ 10月2日（火）大阪府立大学図書館
- ⑰ 10月6日（土）認定NPO 法人うりずん家族交流会

- ⑱ 10月7日(日) 栃木県 家族支援に関する公開講座
- ⑲ 10月18日(木) 花ノ木医療福祉センター
- ⑳ 12月2日(日) 群馬きょうだい支援公開講座
- ㉑ 12月4日(火) 神戸女学院大学
- ㉒ 12月18日(火) 長野県立こども病院
- ㉓ 12月22日(土) 関西国際大学
- ㉔ 1月18日(金) 宝塚市自立支援協議会
- ㉕ 1月23日(水) 松蔭中学校
- ㉖ 1月24日(木) 神奈川県立こども医療センター
- ㉗ 1月30日(水) 京都府山城北保健所
- ㉘ 2月3日(日) 厚労科研成果報告会
- ㉙ 2月9日(土) こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム
- ㉚ 2月15日(金) 九州大学病院
- ㉛ 2月24日(日) 京都府中丹東保健所
- ・ 寄稿、出演など
 - ① にこにこトマト通信「egao」(年4回)
 - ② 4月17日(火) 下野新聞(冊子②)
 - ③ 7月30日(月) 読売新聞(冊子②)
 - ④ 8月1日(水) Soar インターネット記事
 - ⑤ 9月17日(月) 茨城新聞(ふたば講演)
 - ⑥ 9月25日(火) NHK ニュース「おはよう関西」(冊子)
 - ⑦ 10月9日(火) OBC ラジオ大阪「青木和雄の昼までええやん！」(冊子)
 - ⑧ 10月12日(金) NHK ニュース「おはよう日本」(冊子)
 - ⑨ 12月1日(土)、18日(火) 上毛新聞(群馬シブサポ)
 - ⑩ 1月11日(金) Sibkoto インターネット記事
 - ⑪ 2月2日(土) ニュース和歌山(和歌山シブサポ)
 - ⑫ 2月14日(木) 熊日新聞(設立15年)
 - ⑬ 2月23日(土) 読売新聞(マイヤー氏講演)
 - ⑭ 2月25日(月) 毎日新聞(設立15年)
- ・ ブース出展等
 - ① 4月7日(土) 阪急百貨店 H2O サンタトークイベント
 - ② 4月11日(水) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR
 - ③ 4月28日(土) 知ることで守ろう子どものいのちと笑顔
 - ④ 7月14日(土)～16日(月) 阪急百貨店 H2O サンタ NPO フェスティバル
 - ⑤ 8月26日(日) あそびかたフェスタ
 - ⑥ 10月28日(日) かえっこバザール
 - ⑦ 12月11日(火) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR

【対象者】	保健所、患者会、学校、病院、支援団体など
【収益】	795,888円(講師料等)
【費用】	318,022円(給料手当196,880円、旅費交通費121,142円)

(2) シブリングサポーター養成事業

【内 容】 きょうだいの現状及び支援の必要性を理解し、必要なスキルを習得した人材を育成するため、テキストを用意して研修を行い、修了者を「シブリングサポーター」に認定した。さらに、修了者を対象にした「シブリングサポーターミーティング」を開催し、サポーター同士の情報交換や意識の共有を行いつつ互いに励まし合い、ともにきょうだいを応援する仲間の存在を確認できる場を設けた。

【実施時期・場所・参加人数】

- ・シブリングサポーター研修ワークショップ
 - ① 8月18日(土) なないろくれよん福祉センター 31名
 - ② 9月22日(土) ドーンセンター 52名
 - ③ 12月1日(土) 伊勢崎市障害者センター 36名
 - ④ 1月27日(日) Pick こども体育館 15名
 - ⑤ 3月3日(日) 福井市総合ボランティアセンター 28名
- ・シブリングサポーターミーティング
 - ① 9月23日(日) ドーンセンター 26名

【対象者】 病院スタッフ、学生、きょうだい支援に関心のある一般市民

【収 益】 365,502円(研修参加費)

【費 用】 1,243,569円(給料手当360,000円、臨時雇賃金240,000円、法定福利費720円、諸謝金10,000円、印刷製本費10,390円、会議費4,286円、旅費交通費290,540円、通信運搬費40,740円、消耗品費5,423円、賃借料277,120円、保険料4,350円)

(3) 「きょうだい支援リーダー会議」の開催

【内 容】 きょうだい支援体制の現状における到達点と今後目指すべき方向を明らかにするため、国内のきょうだい支援をけん引している方々に全国から集まっていただき、それぞれの現状報告と意見交換を行う会議を実施。そこで明らかになった現状と課題について、ドナルド・マイヤー氏の講演会で報告を行った。

【実施時期・場所・参加人数】

<第1回>

7月29日(日) ドーンセンターセミナールーム 17団体26名

<第2回>

1月12日(土) ドーンセンター中会議室 15団体28名

【収 益】 なし

【費 用】 1,045,370円(給料手当120,000円、諸謝金100,000円、印刷製本費4,350円、会議費19,919円、旅費交通費770,710円、通信運搬費1,231円、賃借料29,160円)

(4) ドナルド・マイヤー氏招聘プロジェクト

【内 容】 きょうだい支援の世界的先駆者であるドナルド・マイヤー氏を招き、シブショップファシリテーター養成トレーニング及びきょうだい支援を世界に広めてきた過程についての講演会を開催した。

【実施時期・場所・参加人数】

<東京講演>

3月16日(土) 戸山サンライズ大研修室 142名

<シブショップファシリテータートレーニング>

3月17日(日) 戸山サンライズ大研修室 29名

<大阪講演>

3月21日(木) 関西国際大学 KUIS ホール 237名

【収 益】 892,480円(参加費)

【費 用】 1,890,557円(諸謝金 926,100円、印刷製本費 16,720円、会議費 19,890円、旅費交通費 379,800円、通信運搬費 49,652円、消耗品費 22,577円、賃借料 438,810円、保険料 330円、支払手数料 36,678円)

(5) シブリングデー啓発キャンペーン

【内 容】 アメリカで広く定着している4月10日のシブリングデーに合わせて、チャリティファッションブランド「JAMMIN」が当会とのコラボTシャツを販売。オリジナルコースターを配布するなど、試行的キャンペーンを行った。

日本でもこの日を定着させるため、記念日制定プロジェクトを発足。219名の制定発起人の協力を得て、4月10日を「きょうだいの日(シブリングデー)」に制定、一般社団法人日本記念日協会にて認定、登録された。

日本で最初の「きょうだいの日」を迎える来年度に向けて、近畿ろうきんNPOアワードの支援により10,000枚のオリジナルコースターを作成、宮城県から宮崎県まで全国18都道府県55施設に配布するなど、きょうだい支援を広めるための啓発キャンペーンを展開した。

【実施場所】 事務局より各地へ発送

【実施時期】 2019年3月

【対象者】 一般市民

【収 益】 なし

【費 用】 481,853円(諸謝金 127,440円、印刷製本費 227,238円、通信運搬費 18,095円、消耗品費 1,080円、広告宣伝費 108,000円)

IV 社員総会の開催状況

第2回通常総会

【日 時】 2018年6月10日 14時30分から15時00分まで

【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49
ドーンセンター 調理室

【会員総数】 11名

【出席者数】 11名（うち電磁的記録による表決者数5名）

【内 容】 第1号議案 2017年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2017年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第2回理事会

【日 時】 2018年6月10日 14時00分から14時30分まで

【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49
ドーンセンター 調理室

【役員総数】 7名

【出席者数】 7名

【内 容】 第1号議案 2017年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2017年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 2018年度事業計画書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第4号議案 2018年度予算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第5号議案 役員任期満了につき改選の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第6号議案 理事長及び副理事長選定の件 審議の結果、全員一致で可決承認